

アジア文化研究所活動報告
(2015年1月-2015年12月)

1. 公開講演会

1. 「落語と江戸」柳亭左龍（落語家）2015年1月13日 GE科目歴史学特別授業 歴史学デパートメントと共催

2. アジア研究フォーラム

1. 「苦しむ死者の救済をめぐる——東アジアの死者供養文化——」池上良正（駒澤大学総合教育研究部教授、宗教学）2015年1月13日
2. 「エジプトについて知ってみませんか」エバ・ハッサン（NHK教育テレビアラビア語講師）2015年2月17日
3. “My Life and the Study of Japan（日本研究と私）,” ピーター・ノスコ（ブリティッシュ・コロンビア大学教授、日本史）2015年2月27日
4. 「聞こえない、見えない嵐——フィリピン・レイテ島における聴覚・視覚障がい被災者への聞き取りから——」西田昌之（チェンマイ大学日本研究センター講師、人類学）2015年4月14日
5. “The Many Faces of Kobayashi Kiyochika: From the Everyday to Political Propaganda（小林清親の様々な顔）,” ミリアム・ワトルズ（カリフォルニア大学東京スタディーセンター長、カリフォルニア大学サンタバーバラ校准教授、近現代日本美術）2015年5月27日
6. 「近代における日中語彙交流のサイクル」陳力衛（成城大学経済学部教授、言語学）2015年9月16日
7. 「聞き手指向の日本語と話し手指向の韓国語」文彰鶴（韓国外国語大学教育大学院助教授、日本語教育）2015年10月9日
8. 「文化の一要因としての言語：宗教と生死観から見る時制の編成」豊田純一（大阪市立大学准教授、言語学）2015年10月30日

3. その他

1. 第3回飲食文化研究会 2015年3月27日 於東ヶ崎潔記念ダイアログハウス国際会議室 飲食文化研究会主催 アジア文化研究所共催
2. 第4回飲食文化研究会 2015年11月21日 於東ヶ崎潔記念ダイアログハウス国際会議室 飲食文化研究会主催 アジア文化研究所共催

4. シンポジウム

1. 国際シンポジウム「日本の大学とキリスト教——戦前・戦後の教育改革と宣教師団体」
2015年11月28日（土） 於本部棟206
開会挨拶 古藤友子（国際基督教大学アジア文化研究所所長）
基調講演 井上章一「風俗史から見た現代日本のキリスト教」（国際日本文化研究センター副所長）
研究発表：M. William Steele “The Cold War and the Founding of ICU”（国際基督教大学献学60周年記念教授）
Kate W. Nakai “Charting a Course for a Catholic University in Prewar Japan: Sophia University, 1913-1945”（上智大学名誉教授）
Patricia Sippel “New Buds, Old Roots: Postwar Higher Education at a Christian Girls’ School”（東洋英和女子学院大学教授）
郷戸夏子「エスター・B. ローズと日本」（国際基督教大学大学院）
太田哲男「崇貞学園・桜美林学園と清水安三」（桜美林大学教授）
2. ミニ・シンポジウム「アジアの宗教における「修養」の諸相」
2015年6月6日（土） 於本部棟204
開会挨拶 古藤友子（国際基督教大学アジア文化研究所所長）
研究発表 馬場紀寿「上座部仏教における修養」（東京大学東洋文化研究所准教授）
ステーブ・E・エスキルセン「道教全真教における修養法——六代宗師尹志平

の語録に基づいて」(テネシー州立大学チャタヌーガ校、ノースキャラハン特別研究教授)

吉永進一「近代日本における修養と身体文化」(舞鶴工業高等専門学校教授)

5. 出版物

1. 『アジア文化研究』41号(2015年3月30日発行)

J. Edward Kidder, Jr. (1922–2014) In Memoriam M. William Steele
研究論文

Makimuku, Himiko and Yamatai: Solving the Puzzle J. Edward Kidder, Jr.

近世における「ふるさと」考 リンジー・モリソン

伊沢修二のアメリカ留学と台湾における教育実践 ジェニー・ヒートン

和辻倫理学における「人間の学」概念について 林 美茂

中島飛行機三鷹研究所——その稼働期—— 高柳昌久

後漢時代の東観での「校書」と「著作」

——担当した学者官僚と対象になった書物—— 飯島良子

太平天国の西征開始と南昌攻撃 菊池秀明

書評

江戸の〈政治的リアリズム〉を探して——濱野靖一郎『頼山陽の思想 日本における

政治学の誕生』(東京大学出版会、2014年) 書評—— 道家真平

アジア文化研究所活動報告

執筆者紹介

2. 「アジア文化研究のいま」『アジア文化研究』別冊20号(2015年3月31日発行)

編者まえがき 小島康敬

日本における中国史研究 斯波義信

Early Modern Religions and the Construction of Japanese Individuality Peter Nosco

中村敬宇と宗教 小泉 仰

福沢諭吉の英語研究 飛田良文

20世紀初頭における商務印書館の教科書と日本 呉 倩

マハートマ・ガーデンディーの近代文明批判と3.11以降の日本 宇野彩子

歌ことば「霞」についての一考察——自然と言葉—— 大野ロベルト

The Influence of Nineteenth Century Urbanization in Hirata Atsutane's *Tamadasaki*:

Religious Views and Domestic Practices Suzuki Takako

「道義」から「広義王道」へ——津田左右吉と橋樑の「王道」言説 姜 海守

モダニティのなかの「日本的なもの」——建築家岸田日出刀のモダニズム—— 岸 佑

文明開化と仮名の成立 蓮沼啓介

Saussure と時枝誠記の主体的言語観についての再検討

——*Cours de linguistique générale*と『国語学原論』を基に—— 松中完二

執筆者紹介

6. 長清子アジア研究学奨励賞 (Friends of ICU 指定寄付)

2015年4月: 野本菜穂子「努力の精神史 思想と翻訳からみる『セルフ・ヘルプ』及び『西国立志編』」アーツ・サイエンス学科

7. 人事動向

1. 所長

2015.4 古藤友子教授就任

2. 所員

2015.4 矢内賢二准教授就任

2015.9 森木美恵准教授就任

3. 研究員(無給)

2015.4 濱野靖一郎(日本学術振興会特別研究員、日本政治思想史)

岸 佑(ICU、日本近代史)

佐々木百合(明治学院大学、経済学)

- 吉村武典 (早稲田大学、中世アラブ・イスラム史)
- 2015.9 古川沙弥香 (ICU、江戸文化史)
- 鄭 偉 (拓殖大学、異文化コミュニケーション)
4. 準研究員 (無給)
- 2015.6 嵯峨景子 (明治学院大学、社会学)
- 2015.9 並木英子 (ICU、宗教学)
- 2015.10 Aaron Jeffrey Hames (ワシントン大学 (セントルイス)、医療人類学)
5. 助手
- 2015.4 高崎 惠退職
- 2015.5 加畑聡子就任
- 2015.6 並木英子退職
- 2015.7 岸 佑 就任
6. 秘書
- 2015.2 渡辺公美子 退職
- 2015.2 平尾彩子 大江早苗 就任
- 2015.3 相川興子 退職
- 2015.12 菊地亜耶 退職
8. 構成員 (2015年12月31日現在・ABC順)
1. 所長 古藤友子 (哲学・宗教学、教授)
2. 所員
- Christopher Bondy (社会学・人類学、准教授)
- Walter Dawson (比較教育学、准教授)
- 江田早苗 (言語学、客員准教授)
- Robert Eskildsen (近代日本史、上級准教授)
- Matthew A. Gillan (音楽、上級准教授)
- 黄 仁相 (経済学・経営学・開発研究、上級准教授)
- 池田理知子 (メディア・コミュニケーションと文化・日本研究、教授)
- 生駒夏美 (文学、上級准教授)
- 加藤恵津子 (人類学、上級准教授)
- 菊池秀明 (歴史学、教授)
- 小島康敬 (歴史学、特任教授)
- Tzvetana Ilieva Kristeva (文学、教授)
- Mark W. Langager (比較教育、上級准教授)
- John C. Maher (メディア・コミュニケーションと文化、教授)
- Shaun K. Malarney (人類学、教授)
- Heather A. Montgomery (経済学・経営学、上級准教授)
- 森木美恵 (文化人類学、准教授)
- 村上むつ子 (ジャーナリズム、サービス・ラーニングセンター、非常勤講師)
- 那須 敬 (歴史学、上級准教授)
- Csaba Olah (歴史学、准教授)
- 尾崎(渡邊)久美子 (言語教育、講師 (課程准教授))
- 佐藤 豊 (言語教育、教授)
- Giogiandrea Shani (国際関係学・政治学、上級准教授)
- M. William Steele (歴史学、献学60周年記念教授)
- 高澤紀恵 (歴史学、教授)
- 田仲康博 (メディア・コミュニケーションと文化、上級准教授)
- Wilhelm M. Vosse (平和研究・政治学・国際関係学、教授)
- Gavin H. Whitelaw (社会学・人類学、上級准教授)
- Richard L. Wilson (美術・考古学、特任教授)
- 矢内賢二 (日本文学、准教授)
3. 顧問 長(武田)清子、葛西 實、源 了圓

4. 客員所員 原 喜美、飛田良文、稲垣滋子、森本光生、中村妙子、染谷臣道

5. 研究員

- 古川沙弥香 (ICU、江戸文化史) (2015.9.1-2016.3.31)
濱野靖一郎 (日本学術振興会特別研究員、日本政治思想史) (2015.4.1-2016.3.31)
蓮沼啓介 (ICU、法学) (2015.4.1-2016.3.31)
羽鳥隆英 (早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、映画学) (2015.4.1-2016.3.31)
早川朝子 (東都医療大学、ドイツ近世史) (2015.4.1-2016.3.31)
星野文子 (ICU、比較文化、文化交流史) (2015.4.1-2016.3.31)
稲垣亜紀子 (東北大学大学院、文化交流史) (2015.4.1-2016.3.31)
姜 海守 (韓国啓明大学校、日韓思想史) (2015.4.1-2016.3.31)
岸 佑 (ICU、近現代日本史) (2015.4.1-2016.3.31)
北嶋 裕 (ICU、歴史学) (2015.4.1-2016.3.31)
李 正美 (慶應義塾大学、歴史学) (2015.4.1-2016.3.31)
李 曉東 (中国社会科学院、日本思想史、日本文化) (2015.4.1-2016.3.31)
李 迎紅 (桜美林大学、中国文学) (2015.4.1-2016.3.31)
林 美茂 (中国人民大学哲学院、ギリシャ哲学) (2015.4.1-2016.3.31)
眞嶋亜有 (明治大学、近代日本社会文化史) (2015.4.1-2016.3.31)
松中完二 (九州産業大学語学教育研究センター、言語学) (2015.4.1-2016.3.31)
宮永國子 (ライシャワー日本研究所、社会人類学) (2015.4.1-2016.3.31)
宮沢恵理子 (ICU、歴史学) (2015.4.1-2016.3.31)
森 葉月 (ザグレブ大学、日本思想史) (2015.4.1-2016.3.31)
西田昌之 (ICU、人類学) (2015.4.1-2016.3.31)
小原美夏 (ラフバラ大学、政治学) (2015.4.1-2016.3.31)
岡本佳子 (ICU、歴史学) (2015.4.1-2016.3.31)
大沢広晃 (ICU、歴史学) (2015.4.1-2016.3.31)
大野ロベルト (日本社会事業大学、日本文学) (2015.9.1-2016.3.31)
尾辻恵美 (シドニー工科大学、社会言語学) (2015.4.1-2016.3.31)
朴 炳建 (ICU、比較哲学) (2015.4.1-2016.3.31)
Vivek Paul Pinto (ICU、アジア史) (2015.4.1-2016.5.31)
Kenneth R. Robinson (ICU、日韓関係史) (2015.4.1-2016.3.31)
坂元ひろ子 (一橋大学、近現代中国思想史) (2015.4.1-2016.3.31)
佐々木百合 (明治学院大学、経済学) (2015.4.1-2016.3.31)
佐藤仁史 (一橋大学、中国近現代社会史) (2015.4.1-2016.3.31)
先崎彰容 (東日本国際大学、近代日本思想史) (2015.4.1-2016.3.31)
清水祐美子 (フランス国立社会科学高等研究院) (2015.4.1-2016.3.31)
菅原未宇 (ICU、歴史学) (2015.4.1-2016.3.31)
鈴木孝子 (大妻女子大学、近代日本思想史) (2015.4.1-2016.3.31)
高崎 恵 (ICU、文化人類学) (2015.4.1-2016.3.31)
玉置 拓 (ラフバラ大学、国際政治) (2015.4.1-2016.3.31)
田中祐介 (明治学院大学、近現代日本史) (2015.4.1-2016.3.31)
谷村玲子 (ICU、日本文化史・日本思想史) (2015.4.1-2016.3.31)
宇野彩子 (ICU、歴史学) (2015.4.1-2016.3.31)
王 俊英 (中国伝媒大学外国語学院、日本歴史文化) (2015.9.1-2016.3.31)
吉村武典 (早稲田大学、中世アラブ・イスラーム史) (2015.4.1-2016.3.31)
吉岡史朗 (New Castle University、近現代日本史) (2015.4.1-2016.3.31)
戦 海燕 (ICU、文学) (2015.4.1-2016.3.31)
鄭 偉 (拓殖大学、異文化コミュニケーション) (2015.9.1-2016.3.31)

6. 準研究員

- Aaron Jeffrey Hames (ワシントン大学 (セントルイス)、医療人類学) (2015.10.1-2016.3.31)
井堂有子 (ICU、中東史) (2015.4.1-2016.3.31)
仲條大亮 (ICU、音楽学) (2015.4.1-2016.3.31)
並木英子 (ICU、宗教学) (2015.9.1-2016.3.31)
大岡響子 (東京大学大学院、文化人類学) (2015.4.1-2016.3.31)

- 嵯峨景子（明治学院大学、社会学）（2015.6.1-2016.3.31）
高橋裕希（ニューヨーク州立大学、経済学）（2015.12.1-2016.3.31）
竹下和亮（ICU、フランス近代史）（2015.4.1-2016.3.31）
呉 倩（北京語言大学大学院、中国近代教育史）（2015.4.1-2016.3.31）
7. 研究助手（非常勤）
鄭 載勳（歴史学）
加畑聡子（医史学）
岸 佑（近現代日本史）
宮沢恵理子（歴史学）
岡本佳子（歴史学）
8. 秘書（非常勤）
平尾彩子、菊地亜耶、大江早苗

Activities of the Institute of Asian Cultural Studies January 2015–December 2015

1. Open Lecture

1. “RAKUGO and Edo,” Ryūtei Saryū (Rakugo performer), January 13, 2015. Specialized Course, History, ICU, Sponsored by the History Department.

2. Asian Forum

1. “On the Salvation of the ‘Suffering Deceased’: The Culture of Shisha-kuyō (spiritual aid for the dead) in East Asia?,” Ikegami Yoshimasa, (Professor, Department of Philosophy and Religious Studies, Komazawa University,) January 13, 2015.
2. “Let’s Learn about EGYPT!,” Eba Hassan, (Lecturer, ICU, Arabic,) February 17, 2015.
3. “My Life and the Study of Japan,” Peter Nosco, (Professor, University of British Columbia,) February 27, 2015.
4. “ ‘The Storm without Sound or Sight’ Interviewing with Deaf and Blind Victims in Leyte Island, Philippines,” Masayuki Nishida, (Lecturer, Japanese Studies Center, Chiang Mai University, Faculty of Humanities,) April 14, 2015.
5. “The Many Faces of Kobayashi Kiyochika: From the Everyday to Political Propaganda,” Miriam Wattles, (Visiting Professor, ICU, Director, UC Tokyo Study Center, Associate Professor in the Department of Art & Architecture, UC Santa Barbara, Early Modern and Modern Japanese Visual Culture,) May 27, 2015.
6. “Interaction of Chinese and Japanese Vocabularies in Modern Times,” Chen Li-wei, (Professor, Seijo University, Economy,) September 16, 2015.
7. “Hearer-oriented Japanese and Speaker-oriented Korean,” Moon Chang-hak, (Hankuk University of Foreign Studies, Graduate School of Education, Japanese Language Education,) October 9, 2015.
8. “Language as a Part of Culture: Tense Formation in Relation to Religious Worldview on Death,” Toyota Junichi, (Associate Professor, Osaka City University, Linguistics,) October 30, 2015.

3. Others

1. The Third meeting of Inshoku-bunka kenkyūkai, March 27, 2015. International Conference Room, Kiyoshi Tōgasaki Memorial Dialogue House. Sponsored by Inshoku-bunka kenkyūkai, co-organized by IACS.
2. The Fourth meeting of Inshoku-bunka kenkyūkai, November 21, 2015. International Conference Room, Kiyoshi Tōgasaki Memorial Dialogue House. Sponsored by Inshoku-bunka kenkyūkai, co-organized by IACS.

4. International Symposia

1. “Japanese Universities and Christianity: Education Reform and Christian Missionaries before and after the Second World War,” Saturday, November 28, 2015. ICU Administration Building, 206.
Opening Speech: Kotō Tomoko (Director, Institute of Asian Cultural Studies)
Introduction Speech: Robert Eskildsen (ICU)
Keynote Speech: “Contemporary Japanese Christianity and the History of Popular Culture,” Inoue Shōichi (International Research Center for Japanese Studies)
Research Presentation
“The Cold War and the Founding of ICU,” M. William Steele (ICU)
“Charting a Course for a Catholic University in Prewar Japan: Sophia University, 1913–1945,” Kate W. Nakai (Emerita, Sophia University)
“New Buds, Old Roots: Postwar Higher Education at a Christian Girls’ School,” Patricia

Sippel (Toyo Eiwa University)

Discussion

“Esther B. Rhoads and Japan,” Gōdo Natsuko (Graduate School of ICU)

“Sūtei Gakuen, Ōbirin Gakuen and Shimizu Yasuzō,” Ōta Tetsuo (J. F. Oberlin University)

Discussion

Closing Speech: Kotō Tomoko

2. “The Varieties of Self-Cultivation in Asian Religion,” Saturday, Jun 6, 2015. ICU Administration Building, 204.

Opening Speech: Kotō Tomoko (Director, IACS)

“Self-Cultivation in Theravada Buddhism,” Baba Norihisa (The University of Tokyo)

“Self-Cultivation in Quanzhen Daoism: As Described in the Recorded Sayings of Sixth Patriarch Yin Zhiping,” Stephen E. Eskildsen (University of Tennessee at Chattanooga)

“Self-Cultivation and Physical Culture in Modern Japan,” Yoshinaga Shin’ichi (Maizuru National College of Technology)

General Discussion

5. Publications

1. *Asian Cultural Studies*, Vol. 41 (March 30, 2015)

Research Articles

Makimuku, Himiko and Yamatai: Solving the Puzzle J. Edward Kidder, Jr.

J. Edward Kidder, Jr. (1922–2014) In Memoriam M. William Steele

Furusato Consciousness in the Edo Period..... Lindsay R. Morrison

Isawa Shūji, Bridgewater Normal School, and Japanese Education
in Colonial Taiwan/Japanese Jenine L. Heaton

Notion of Ningen Gaku—Review on Theoretical Stating Point
of Professor Watsuji’s Ethical Theory Lin Meimao

The Mitaka Research Center of the Nakajima Aircraft Industry
at the Period of Their Full Operation Takayanagi Masahisa

The Dongguan Library of the Later Han and Its Editorial Work
with Additions: Scholars Assigned and Texts Targeted Ījima Yoshiko

Taiping’s Starting of Expedition to the West Side of China and
Attacking Nanchang, 1853 Kikuchi Hideaki

Book Review

Reading Seiichirō Hamano’s The Political Thought of Rai Sanyo Dōke Shimpei
Activities of the Institute of Asian Cultural Studies (January 2015–December 2015)

List of Contributors

2. *Asian Cultural Studies*, Special Issue Vol. 20 (March 31, 2015)

“Ajia bunka kenkyū no ima”

Editor’s Introduction Kojima Yasunori

The Study into Chinese History in Japan Shiba Yoshinobu

Early Modern Religions and the Construction of Japanese Individuality
..... Peter Nosco

Nakamura Keiu and Religion Koizumi Takashi

Fukuzawa Yukichi’s Study of the English Language Hida Yoshifumi

The Japanese Influence on the New Primary School Text Books
of the Commercial Press Wu Qian

Mahatma Gandhi’s Criticism of Modern Civilization and Japan after 3.11
..... Uno Ayako

On the Word “Kasumi” in *Waka*: Nature and Language Ōno Robert

The Influence of Nineteenth Century Urbanization in Hirata Atsutane’s *Tamadasuki*:
Religious Views and Domestic Practices Suzuki Takako

From ‘Morality-Righteousness’ to “Extensive Kingly Way”: The Discourse on
“Kingly Way” in Tsuda Sōkichi and Tachibana Shraiki Kang Hae-soo

Japaneseness in Modernity: Kishida Hideto and his Modernism Kishi Yū
 The Concept and Origins of KANA Hasunuma Keisuke
 A Comparative Analysis of “Subjective Linguistic Perspectives” in Saussure’s
 “*Cours de linguistique générale*” and Tokieda’s “*Kokugakugenron*” Matsunaka Kanji
 List of Contributors

- 6. Kiyoko Chō Academic Award in Asian Studies** (Designated through Friends of ICU)
 April 2015 Nomoto Naoko “‘Diligence’ in Historical Perspective: On the History and
 Thought of Self-Help and its Japanese Translation, Saigoku Risshihen,”
 Division of Arts and Sciences.

7. Personnel

1. Director
 April 2015 Kotō Tomoko (Professor of Philosophy and Religion)
2. Institute Members
 April 2015 Yanai Kenji (Japanese Literature, Associate Professor)
 September 2015 Moriki Yoshie (Cultural Anthropology, Associate Professor)
3. Research Fellows (non-salaried)
 April 2015 Hamano Seichirō (Japan Society for the Promotion of Science,
 Politics)
 Kishi Yū (ICU, Japanese History)
 Sasaki Yuri (Meiji Gakuin University, Economics)
 Yoshimura Takenori (Waseda University, Islamic Area History)
 September 2015 Furukawa Sayaka (ICU, Japanese Cultural History)
 Zheng Wei (Takushoku University, Intercultural Communication)
4. Research Associates (non-salaried)
 April 2015 Saga Keiko (Meiji Gakuin University, Sociology) Japanese Cul-
 ture and Thoughts)
 September 2015 Namiki Eiko (ICU, Religious Study)
 October 2015 Takahashi Yūki (State University of New York, Economics)
5. Research Assistant
 April 2015 Takasaki Megumi leaved the Institute.
 Kahata Satoko joined the Institute.
 June 2015 Namiki Eiko leaved the Institute.
 July 2015 Kishi Yū joined the Institute.
6. Secretary
 February 2014 Watanabe Kumiko leaved the Institute.
 February 2015 Oe Sanae, Hirao Ayako joined the Institute.
 March 2015 Aikawa Kyōko leaved the Institute.
 December 2015 Kikuchi Aya leaved the Institute.

8. Members of the Institute, as of December 31, 2014 (Alphabetical Order)

1. Director:
 Kotō Tomoko (Professor of Philosophy and Religion)
2. Institute Members:
 Christopher Bondy, (Associate Professor of Sociology and Anthropology)
 Walter Dawson (Associate Professor of Comparative Education)
 Eda Sanae (Visiting Associate Professor of Linguistics)
 Robert Eskildsen (Senior Associate Professor of History)
 Matthew A. Gillan (Senior Associate Professor of Musicology)
 Hwang In-sang (Senior Associate Professor of Economics/Business/Development
 Studies)
 Ikeda Richiko (Professor of Media, Communication and Culture/Japan Studies)

- Ikoma Natsumi (Senior Associate Professor of English Literature)
 Katō Etsuko (Senior Associate Professor of Anthropology)
 Kikuchi Hideaki (Professor of History)
 Kojima Yasunori (Professor by Special Appointment, History)
 Tzvetana Ilieva Kristeva (Professor of Japanese Literature)
 Mark W. Langager (Senior Associate Professor of Comparative Education/Education, Media and Society)
 John C. Maher (Professor of Media, Communication and Culture)
 Shaun K. Malarney (Professor of Anthropology)
 Heather A. Montgomery (Senior Associate Professor of Economics/Business,)
 Moriki Yoshie (Cultural Anthropology, Associate Professor)
 Murakami Mutsuko (Part-time Lecturer of Journalism, Service Learning)
 Nasu Kei (Professor of History)
 Csaba Olah (Professor of History)
 Osaki (Watanabe) Kumiko (Lecturer of Language Education)
 Satō Yutaka (Professor of Language Education)
 Giogiandrea Shani (Senior Associate Professor of International Relations/Politics)
 M. William Steele (History, 60th Anniversary Professor)
 Takazawa Norie (Professor of History)
 Tanaka Yasuhiro (Senior Associate Professor of Media, Communication and Culture)
 Wilhelm M. Vosse (Professor of Peace Studies/International Relations/Politics)
 Gavin H. Whitelaw (Senior Associate Professor of Sociology/Anthropology)
 Richard L. Wilson (Professor by Special Appointment, Art and Archaeology)
3. Advisors:
 Chō Takeda Kiyoko, Kasai Minoru, Minamoto Ryōen
 4. Senior Research Associates:
 Hara Kimi, Hida Yoshifumi, Inagaki Shigeko, Morimoto Mitsuo, Nakamura Taeko, Someya Yoshimichi
 5. Research Fellows:
 Furukawa Sayaka (ICU, Japanese Cultural History) (2015.9.1–2016.3.31)
 Hamano Seiichiro (Japan Society for the Promotion of Science, Politics) (2015.4.1–2016.3.31)
 Hasunuma Keisuke (ICU, Law) (2015.4.1–2016.3.31)
 Hatori Takafusa (Waseda University, Tsubouchi Shōyō Memorial Museum, Cinema Studies) (2015.4.1–2016.3.31)
 Hayakawa Asako (Tohoku College of Health Sciences, History) (2015.4.1–2016.3.31)
 Hoshino Ayako (ICU, Comparative Culture) (2015.9.1–2016.3.31)
 Inagaki Akiko (Graduate School of Tohoku University, History) (2015.4.1–2016.3.31)
 Kan Hae-soo (Keimyung University, The Institute for International Studies, Japan Studies) (2015.4.1–2016.3.31)
 Kishi Yū (ICU, Japanese History) (2015.4.1–2016.3.31)
 Kitajima Yutaka (ICU, History) (2015.10.1–2016.3.31)
 Lee Jeong-mi (Keio University, History) (2015.4.1–2016.3.31)
 Li Xiao-dong (Chinese Academy of Social Sciences, History of Japanese Thought) (2015.4.1–2016.3.31)
 Li Ying-hong (J. F. Oberlin University, Chinese Literature) (2015.4.1–2016.3.31)
 Lin Mei-mao (School of Philosophy, Renmin University of China, Philosophy) (2015.4.1–2016.3.31)
 Majima Ayu (Meiji University, History) (2015.4.1–2016.3.31)
 Matsunaka Kanji (Keiai University, Linguistics) (2015.4.1–2016.3.31)
 Miyanaaga Kuniko (The Human Potential Institute, Anthropology) (2015.4.1–2016.3.31)
 Miyazawa Eriko (ICU, History of Modern Japan) (2015.4.1–2016.3.31)

- Mori Hazuki (University of Zagreb, Japanese Intellectual History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Nishida Masayuki (ICU, Anthropology) (2015.4.1–2016.3.31)
- Obara Mika (Loughborough University, Politics) (2015.4.1–2016.3.31)
- Okamoto Yoshiko (ICU, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Ōno Robert (Japan College of Social Work, Japanese Literature) (2015.4.1–2016.3.31)
- Ōsawa Hiroaki (ICU, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Otsuji Emi (University of Technology, Sydney, Sociological Linguistics) (2015.4.1–2016.3.31)
- Ken Byung-kun Park (ICU, Comparative Philosophy) (2015.4.1–2016.3.31)
- Vivek Paul Pinto (ICU, Asian History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Kenneth R. Robinson (ICU, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Sakamoto Hiroko (Graduate School of Social Sciences, Hitotsubashi University, History of Modern Chinese Thought) (2015.4.1–2016.3.31)
- Sasaki Yuri (Meiji Gakuin University, Economics) (2015.4.1–2016.3.31)
- Sato Yoshifumi (Hitotsubashi University, Modern Chinese History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Senzaki Akinaka (Higashi Nippon International University, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Shimizu Yumiko (School of High Studies in Social Sciences of France, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Sugawara Miu (ICU, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Suzuki Takako (Ōtsuma Women's University, Intellectual History of Japan) (2015.4.1–2016.3.31)
- Takasaki Megumi (ICU, Cultural Anthropology) (2015.4.1–2016.3.31)
- Tanaka Yūsuke (Meiji Gakuin University, Modern Japanese History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Tamaki Taku (Loughborough University, International Politics) (2015.4.1–2016.3.31)
- Tanimura Reiko (ICU, History of Modern Japan) (2015.4.1–2016.3.31)
- Uno Ayako (ICU, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Wang Jun-ying (School of International Studies Communication University of China, Japanese Cultural History) (2015.4.1–2015.9.30)
- Yoshimura Takenori (Waseda University, Islamic Area History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Yoshioka Shirō (ICU, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Zhan Hai-yan (ICU, Literature) (2015.4.1–2016.3.31)
- Zheng Wei (Takushoku University, Intercultural Communication) (2015.9.1–2016.3.31)
6. Research Associates:
- Aaron Jeffrey Hames (Washington University in St. Louis, Medical Anthropology) (2015.10.1–2016.3.31)
- Idō Yūko (ICU, History of Near East) (2015.4.1–2016.3.31)
- Nakajyō Daisuke (ICU, Music) (2015.4.1–2016.3.31)
- Namiki Eiko (ICU, Religious Study) (2015.9.1–2016.3.31)
- Ōoka Kyōko (Graduate School of the University of Tokyo, Cultural Anthropology) (2015.4.1–2016.3.31)
- Saga Keiko (Meiji Gakuin University, Sociology) (2015.6.1–2016.3.31)
- Takahashi Yūki (State University of New York, Economics) (2015.4.1–2016.3.31)
- Takeshita Kazuaki (ICU, History) (2015.4.1–2016.3.31)
- Wu Qian (Graduate School of Beijing Language and Cultural University, History of Modern Chinese Education) (2015.4.1–2016.3.31)
7. Research Assistant:
- Jung Jae-hoon (History)
- Kahata Satoko (History of Medicine)
- Kishi Yū (History)

Miyazawa Eriko (History)
Okamoto Yoshiko (History)

8. Part-time Secretaries:

Hirao Ayako
Kikuchi Aya
Oe Sanae